

のがわ



令和8年1月
拠点校 調和小学校
巡回校 若葉小学校
国領小学校
校内通級教室
(のがわ教室)

寒い日が続きますが、皆様におかれましては、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃から、のがわ教室の指導について御理解と御協力をいただきありがとうございます。

3学期は1年間のまとめの時期です。在籍校や保護者の皆様と連携を図りながら子どもたちの成長を振り返り、次の学年、学校でのスタートを気持ちよく切れるように指導を進めていきます。

3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

☆今後の予定とお知らせ☆

指導開始日	1月13日(火)
指導終了日	3月18日(水)
調和小振替休業日(指導なし)	2月16日(月)
個人面談期間	2月2日(月)～2月27日(金)
保護者学習会	3月19日(木)14:00～16:00

※保護者の方や在籍学級担任の先生と御相談の上、指導開始日と終了日は変更になる場合があります。

また、巡回指導教員の研修や会議、拠点校(調和小)及び在籍校の行事等により、上記以外に指導がない日があります。その場合は、のがわファイル等でお知らせいたしますので、御確認ください。



【のがわファイルについて】

ファイルが厚くなり、持ち運びにくくなっているお子さんが見受けられます。1・2学期のプリントはファイルから外していただき、御家庭で保管いただいても構いません。今一度、お子様のファイルを御確認いただければと思います。

【保護者面談について】

2月2日(月)から保護者面談を実施します。通級及び御家庭での様子について情報共有させていただきたいと思います。日程については、担当から御連絡します。

【第2回のがわ教室保護者講演会を開催しました】

12月24日(水)に明星大学教育学部教育学科教授・保健学博士の星山麻木先生をお招きして、講演会を実施しました。約30名の保護者の方に御参加いただき、ありがとうございました。保護者の方からは、以下のような御感想をいただきました。

- ・「人と比較しない、普通を要求しない。」と聞いてはっとさせられました。
 - ・よい部分を高め、苦手なところは工夫できるような親になりたいと思いました。
- なお、講演の内容は本紙裏面を御覧ください。



講演会 その子らしさを大切にする子育て～親子の関わり方、学校との連携の仕方を中心に～
講 師 明星大学教育学部教育学科教授・保健学博士 星山 麻木 先生

12月24日（水）に星山先生をお招きして、保護者講演会を開催しました。子どもの理解と支援方法の重要性についてお話をいただきました。

以下に講演概要を載せますので、御参考になさってください。

1 学びの土台は「自己理解」

- ・学びや進路の基準となるのは「自分説明書」。子どもの説明書を作ることが大切です。幼少期は保護者が作り、小学校高学年になると本人が作成するとよいでしょう。子ども自身が自分の特性や支援の必要性を説明できることが重要で、それが進路選択や周囲との調整に大きく寄与してきます。

2 大切なのは「診断」より「つながり」

- ・通級や支援機関につながることは素晴らしいことです。
- ・大事なのは、「頼れる人を一人でも多く作る」「本音を話せるコミュニティをつくる」ことです。
- ・人と比べる必要は全くありません。

3 情緒の安定が成長の鍵 がんばりすぎない関わりを

- ・支援でもっとも大切なことは「情緒の安定」です。
- ・イライラしているときや疲れたときは、休みましょう。ぜひ、「今まで頑張ってきた証拠だね。」と子どもを認める声掛けをしましょう。
- ・親子関係が安心の土台です。「困ったら何でも言える関係」「絶対に子どもの味方であること」が大切です。

4 見え方・感じ方の違いを知る

- ・読み書きが苦手な子どもは、「ものの見え方」が異なることがあります。
- ・子どもを叱るのではなく、「なぜそうするのか？」という原因を捉えましょう。
- ・早めに合理的配慮（工夫）を行うことで、将来の進路の幅を広げやすくなります。

5 「得意」を活かす視点

- ・多数派が決めた「普通」に合わせようと頑張るよりも、「一緒にいると楽しい」という親子関係を築くことが幸せにつながります。
- ・よいところを伝え続けることで、自信につながります。

6 特性理解（色で考える）

- ・著書 絵本「星と虹色なこどもたち」で、色別に子どもの特性を紹介しました。

7 まとめ

- ・子どもの特性を理解し、よいところに目を向けます。
- ・繰り返し肯定されることで、自信を育みます。
- ・情報共有、専門家や学校との連携が大切です

